

## ●平成29年度下期 産業医以外の産業保健スタッフ向け研修会

★研修時間にご注意ください

開催日 時 間	(曜) 研修会テーマ 内 容	講 師 所属・役職・資格等 定員
10月4日	水 メンタルヘルスと交流分析	竹内 登規夫 愛知教育大学名誉教授 28名
14:30-16:30	交流分析理論はS.フロイトの弟子E.バーンによって提唱された理論で、「自己に気づき自己を改善することによってより良い人間関係を築く」ことを狙いにした理論ですが、メンタルヘルスの向上のためにも有用な理論ですので、理論の紹介と解説をします。(産業医・スタッフ同時開催)	
10月6日	金 意外と知らない医療現場の被ばく、その改善方法	木村 真三 獨協医科大学福島分室長 28名
14:30-16:30	医療現場で被ばくが最も多いのは臨床放射線技師でも、看護師でもなく、実は医師である。全く被ばくしない科もあるが、ハイリスクグループに属する科も存在する。これら医療従事者がどのようにすれば被ばくを抑えられるのか例を示し紹介する。(産業医・スタッフ同時開催)	
10月10日	火 基礎から学ぶ福島・チェルノブイリ事故から見る核災害	木村 真三 獨協医科大学福島分室長 28名
14:30-16:30	福島第一原発事故がもたらした被害状況や健康面への影響はないのか。今さら聞けない放射線の基礎から原発事故までを分かりやすく説明し、事故から31年経過したチェルノブイリ原発の事故後を紹介する。(産業医・スタッフ同時開催)	
10月11日	水 長時間労働解消のために	内田 憲 三重労働局雇用環境・均等室指導主任 28名
14:30-16:30	長時間労働をなくし、心身の適切な健康管理を実施するため、長時間労働防止対策に関する知識は必要不可欠なものです。三重労働局の職員が、長時間労働防止のための必要な知識や衛生委員会などの積極的な活用方法等について、事例を交えてわかりやすく説明します。(産業医・スタッフ同時開催)	
10月17日	火 アンガーマネジメント研修～イラツ、ムカツ、プチの解消法～	山元 孝二 三重県立こころの医療センター精神保健福祉士 28名
14:30-16:30	なんであんなに怒ってしまったのだろうか。怒りをみずから「管理」し適切な問題解決コミュニケーションに結びつける心理技術を説明します。	
10月18日	水 生物学的モニタリングの見方・考え方について	村田 和弘 当センター産業保健相談員(労働衛生工学担当) 28名
14:30-16:30	生物学的モニタリングの目的、結果の見方(評価の指標)、検体の採取・保存等上の留意点、ばく露の指標としてのリスク見積もり時(リスクアセスメント、特殊健康診断等)の留意点の説明、リスク見積もり事例の紹介などを行います。(産業医・スタッフ同時開催)	
10月24日	火 職場の人間関係を良好にするコミュニケーション術	上住 津恵 当センター産業保健相談員(保健指導担当) 28名
14:30-16:30	職場のコミュニケーションうまくとれていますか？職場の人間関係を良好にするコミュニケーション術を伝授します。	
11月7日	火 労働衛生管理の基本と災害事例について	山田 善久 当センター産業保健相談員(労働衛生工学担当) 28名
14:30-16:30	快適職場の形成・維持向上に必要な労働衛生管理の基本について解説するとともに、改善事例、災害事例、労働安全衛生配慮義務、等を紹介します。(産業医・スタッフ同時開催)	
11月10日	金 現場視点で学ぶストレスチェック制度実施後の活動(ステップ2)	石見 忠士 こころの耳運営事務局長 28名
14:30-16:30	医師の面接指導を受けようとする高ストレス者へのフォロー。集団分析結果をもとに部門状況を確認し、職場環境改善活動方法を考える。行政の最新情報と合わせて、使えるツール、マニュアル、事業場の取組事例などを紹介します。	
11月13日	月 メンタルヘルスに使用される薬剤と禁煙補助薬について	片山 歳也 三重県病院薬剤師会理事 28名
14:30-16:30	メンタルヘルスに使用される睡眠剤、抗不安剤、抗うつ剤および禁煙補助薬を中心にわかりやすく解説します。メンタルヘルスに関する薬を服薬している職員の適切な労務管理の一助とすることを目標とします。	
11月15日	水 職場におけるストレス解消法	橋元 慶男 当センター産業保健相談員(カウンセリング担当) 28名
★13:30-16:30	職場の心の悩みをもつ者に対して、適切にアドバイス・ケアサポートできるストレス解消の研修。(産業医・スタッフ同時開催)	
11月22日	水 ストレスチェックとセルフケアのすすめ	竹内 登規夫 愛知教育大学名誉教授 28名
14:30-16:30	ストレスチェック制度は、メンタル不調に陥らないようにする第一予防を狙いとしています。受験者は結果の如何に関わらずセルフケアに努めることが大切なのです。そこで、セルフケアとしてのストレスコーピングや自律訓練法などについて解説と実習を行います。(産業医・スタッフ同時開催)	
11月24日	金 メンタルヘルス不調者の理解と対応	中川 志穂 三重県立こころの医療センター精神科認定看護師 28名
14:30-16:30	一昨年より職場に導入されたストレスチェックですが、メンタルヘルスの向上につなげるためには、その点数だけにとらわれず、その評価内容や当事者のかたが抱えている不安、悪循環等についても理解しておくことも大切です。ストレスチェックを日頃からメンタルヘルス向上のためのツールとして活かせるものにしていけるよう学びを深めていきたいと思います。	

## ● 平成29年度下期 産業医以外の産業保健スタッフ向け研修会

★研修時間にご注意ください

開催日 時 間	(曜) 研修会テーマ 内 容	講 師 所属・役職・資格等 定員
11月27日	月 医療・産業現場における被ばく事例とその対策	木村 真三
14:30-16:30	非破壊検査、医療現場、研究機関などあらゆる現場で起きる放射線事故を紹介。事故の予防と事故後の対策を考える。(産業医・スタッフ同時開催)	獨協医科大学福島分室准教授 28名
12月5日	火 化学物質管理入門(その7)リスクの見積もり	浅野 保
14:30-16:30	化学物質管理入門の研修を昨年に引き続き行います。第7回目は化学物質のリスクアセスメントにおいて、重要な項目である危険性又は有害性によるリスクの見積もり方法について説明します。	当センター産業保健相談員(労働衛生工学担当) 28名
12月12日	火 AEDを用いた心肺蘇生法の実践	津中消防署救急救命士
★13:30-16:30	AEDを用いて心肺蘇生法の訓練を行います。動きやすい服装でお願いします。身に着くまで繰り返し行います。修了者には消防署から修了証が発行されます。	津中消防署 10名
12月13日	水 再発させない復職者対応の要諦	矢野 一郎
14:30-16:30	再発は、本人の自信を喪失させて、長期の休業に至ることがあります。これは本人にも組織にも痛手です。そこで本研修では、再発させないための復職支援体制と支援のあり方について考察します。	当センター産業保健相談員(カウンセリング担当) 28名
12月19日	火 ストレス対処を日常生活で実践するには	河合 加代子
14:30-16:30	沢山知識はあってもなかなか実践に結びつかないストレス対処法。どうしたら実践できるのかをお話します。	当センター産業保健相談員(保健指導担当) 28名
1月11日	木 労働基準法のあらまし	大西 洋一
★13:30-16:30	労働トラブル未然防止のための労働関係法を実例を交えて説明します。(産業医・スタッフ同時開催)	社会保険労務士 28名
1月17日	水 産業社会の動向とメンタルヘルス	竹内 登規夫
14:30-16:30	メンタルヘルス不調は社会の動向と関係が深いと言われています。そこで社会経済の動向やその下での産業社会の人事制度の変化等がメンタルヘルスにどのような影響を及ぼしているかについて考えてみることにします。	愛知教育大学名誉教授 28名
1月18日	木 職業性疾病の業務上外の認定について	労災補償監察官
14:30-16:30	職業性疾病の認定基準について(上肢障害、脳・心臓疾患、精神障害の労災認定について)。	三重労働局労働基準部労災補償課 28名
1月24日	水 職場の健康体操ケアサポート	橋元 慶男
★13:30-16:30	100歳体操、認知予防だんだんダンス、笑い体操を学び、職場の健康体操の指導ができる技能講座。(産業医・スタッフ同時開催)	当センター産業保健相談員(カウンセリング担当) 28名
1月25日	木 簡易な測定器を用いたばく露の測定とリスクの評価について	村田 和弘
14:30-16:30	リスクアセスメント、特殊健康診断等に係るばく露の測定に関し、簡易な測定器(デジタル粉じん計、検知管、騒音計、スモークテスターなど)を用いたばく露測定法の説明(実演)、リスクの評価事例の紹介などを行います。(産業医・スタッフ同時開催)	当センター産業保健相談員(労働衛生工学担当) 28名
1月26日	金 治療と職業生活の両立支援について	川出 鈴代
14:30-16:30	H28年2月に公表された「事業場における治療と職業生活の両立支援のためのガイドライン」にそって、治療と職業生活の両立支援の進め方について解説します。	当センター産業保健相談員(保健指導担当) 28名
2月6日	火 労災保険適用について～労災事故が発生した場合の対応	林 準之助
14:30-16:30	私傷病と業務災害による傷病、それらに対応する健康保険と労災保険の適用や給付の相違について。	社会保険労務士 28名
2月7日	水 労働衛生5管理と安全衛生配慮義務	山田 善久
14:30-16:30	労働衛生管理の基本である5管理について理解を深め、事業者責務の一つである安全衛生配慮義務事例からその対応・留意点を学んでいただきます。(産業医・スタッフ同時開催)	当センター産業保健相談員(労働衛生工学担当) 28名
2月9日	金 ストレスチェックの事後対応を考える	安保 明子
14:30-16:30	ストレスチェック実施2年目に入り、様々な課題、問題がでてくる中で、事後対応をスムーズに進めるための備えについて考えてみましょう。	当センター産業保健相談員(保健指導担当) 28名
2月21日	水 産業看護の進め方	河南 文子
14:30-16:30	産業看護の基本(考え方、基本的知識)を学び、参加者それぞれの産業看護の進め方について考えましょう。(第1回と趣旨は同じです)	当センター産業保健相談員(保健指導担当) 28名
2月28日	水 ストレスを軽減する職域におけるリーダーシップ	竹内 登規夫
14:30-16:30	「お金」など仕事への動機付けに用いる外発的動機付けではなく、ストレスを軽減する仕事への内発的動機付けを図るリーダーシップ諸理論を解説します。	愛知教育大学名誉教授 28名
3月6日	火 騒音・熱中症のリスクアセスメント	浅野 保
14:30-16:30	騒音と熱中症のリスクアセスメントの進め方を、職場環境の測定方法からリスク低減対策まで説明します。また、騒音と暑熱の測定実習も行う予定です。	当センター産業保健相談員(労働衛生工学担当) 28名

## ● 平成29年度下期 産業医以外の産業保健スタッフ向け研修会

★研修時間にご注意ください

開催日 時 間	(曜)	研修会テーマ 内 容	講 師 所属・役職・資格等 定員
3月7日	水	長時間労働解消のために	内田 憲 三重労働局雇用環境・均等室指導主任 28名
14:30-16:30		長時間労働をなくし、心身の適切な健康管理を実施するため、長時間労働防止対策に関する知識は必要不可欠なものです。三重労働局の職員が、長時間労働防止のための必要な知識や衛生委員会などの積極的な活用方法等について、事例を交えてわかり易く説明します。(産業医・スタッフ同時開催)	
3月15日	木	職場における健康予防管理マネジメント	橋元 慶男 当センター産業保健相談員(カウンセリング担当) 28名
★13:30-16:30		健康長寿を維持、推進するための予防の手法について学び、専門的アドバイス、ケアサポートが出来る技法習得の人材育成講座。(産業医・スタッフ同時開催)	
3月19日	月	職場の安全管理と産業看護活動	河野 啓子 四日市看護医療大学名誉学長 28名
14:30-16:30		働く人々のQOLの低下を招き、生産性の低下にもつながる労働災害防止に、看護専門職としてどのような役割を担うべきか事例を交えて説明します。	
3月20日	火	産業保健スタッフによる職場巡視	後藤 義明 三重産業医会理事 28名
14:30-16:30		産業保健スタッフが製造業職場を巡視する際のポイントについて、事例を交えて解説します(9月27日と同一内容です)。	